

○ジャパンブリーディングホースショー

2022年11月25日～27日、兵庫県の三木ホースランドパークで第14回JRAジャパンブリーディングホースショーが開催され、今年は5頭の遠野産馬が出場。遠野から7名の関係者が訪れ、遠野産馬の活躍を見守りました。



生産組合員、事務局、馬の里スタッフなど「チーム遠野」が応援に駆け付けた

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.74

2023年1月1日

○馬が結ぶ縁

一頭の馬が生まれてから乗用馬として成長していく過程では、生産者、育成者、馬のオーナー、ライダー、獣医師、装蹄師など様々な立場の人が関わります。年に一回開催されるJRAブリーディングホースショーには全国の内国産乗用馬(=日本国内で生産された乗用馬および競走馬を引退し乗用馬として転用された馬)が集い、関係者の交流の場となっています。今年もチーム遠野のメンバーが遠野産馬を通じて多方面の人々と交流を深めました。



ルシエルとオーナーの相良奈美さん
(乗馬倶楽部イクス一宮)



競技を終えたアンリ・ルー
(乗馬倶楽部イクス一宮)



ルフトと対面する佐々木盛友組合長(左)
(新庄乗馬クラブ)



競技中のロレッツアと杉本瑞生選手
(Stable FEDERA)



Japan Breeding Cup 表彰式
準優勝のロレッツア(写真中央)



柁ヲを囲む田中頌平選手と谷淵真理子さん
(岡山乗馬倶楽部)



遠野市乗用馬生産組合の応援幕がデビューしました！